令和５年７月１９日（水）　全体集会　あいさつ

７月 15 日（土）の高志中学校学校説明会では、多くの生徒の皆さんの活躍で大成功に終わりました。小学６年生および保護者の方に対して自分たちで企画・運営し、自分の言葉で語りかける。その姿に皆さんの大きな可能性を垣間見ることが出来て、大変嬉しく、そして誇らしく思いました。

その説明会で保護者の方に対して「こんな人に高志中に来て欲しい」と以下の３つの点を挙げました。

・夢や目標の実現に向けて、中高の６年間頑張ろうと思う人
・新しいことに挑戦したり、課題を解決したりしたいと思う人
・様々な立場の人と協力して、みんなを幸せにしたいと思う人

そして、「そのような生徒たちの活動を教職員は精一杯支援します」と付け加えました。そこで、皆さんに尋ねたいことがあります。この３つに照らし合わせて、現在の自分をどう考えているでしょうか。

当然、皆さん一人ひとりの考えがあり個人によって判断は千差万別になると思いますが、「この中高６年間で成長したい」という思いはみんなの共通するところだと思います。そして、皆さんの中には、これから「どうすればいいのか」と迷っている人、悩んでいる人もいるかもしれません。

そんな少し不安を感じている人も含めて全員に、夏季休業を迎えるにあたり次のことを話したいと思います。それは、「何も特別なことやる必要はない。自分がやりたいと思っていること、興味を持っていることを全てリストアップし、この夏季休業中にどんどん取り組んで欲しい。」ということです。

その際に注意して欲しい点は、優先順位を決めて上位の事項をするために、下位の事項を切り捨てて止めてしまうことをしないという点です。「全て取り組む」ことが大切。大変でも、「全て取り組む」ことを是非、実行して欲しいと望みます。

そして、最後に次の言葉を紹介したいと思います。米国の第 35 代大統領ジョン・F・ケネディが大統領の就任演説で述べた言葉です。

「あなたの国があなたのために何ができるかを問うのではなく、あなたがあなたの国のために何ができるのかを問うてほしい」

誤解しないでほしいことは、「国に対して貢献しなさい」という内容ではありません。「一人ひとりの行動が重要で責任をともなうものである」ことを訴えています。つまり、国からの指示や支援を待っているだけでなく、意志をもって自ら行動してほしいことを訴えています。

この言葉の「国」を「学校」に置き換えても同じことが言えます。学校や先生からの指示をただ待っているだけでは大きい成長はありません。皆さんがそれぞれ持っている興味関心を広げ、学校での教育活動すべてに、自分で考えて取り組むことこそが、皆さん一人ひとりの大きな成長をもたらすだけでなく、「自分自身のこと」の意識を育み、責任ある行動と将来を切り拓いていく力になると信じています。

この夏季休業中に「大きく飛躍する」ことを期待して、挨拶とします。